

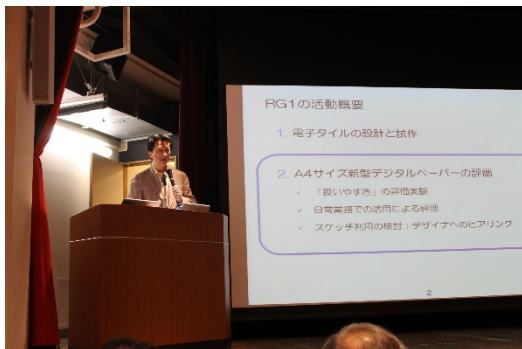
「第14回電子ペーパーシンポジウム」開催報告

電子ペーパーコンソーシアムでは、例年シンポジウムを開催して調査研究の成果をご報告しています。通算第14回目となるシンポジウムを2018（平成30）年2月16日（金）に日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホールにおいて開催しました。今回は6件の招待講演と実機によるデモ等を行い、63名の方にご来場いただきました。

最初に電子ペーパーコンソーシアム委員長の面谷 信氏の開会挨拶に続き、各調査研究グループからの活動報告が行われました。

RG1からは、「最新電子ペーパーの評価」と題して、電子ペーパーコンソーシアム RG1 主査の柴田 博仁氏から電子ペーパーの壁面表示である「電子タイル」の設計、試作に関する報告と A4サイズ新型デジタルペーパーの評価について報告がありました。

RG4からは、「電子ペーパーの国際標準進捗報告」と題して、電子ペーパーコンソーシアム RG4 委員の高橋 達見氏から IEC/TC110 WG7 及び ISO/TC159 SC4/WG2 の現況について報告されました。



<活動報告：RG1 柴田主査>



<活動報告：RG4 高橋委員>

コンソーシアム全体の取り組みとして、委員長の面谷信氏より、「電子ペーパーから電子タイルへ」と題して電子タイルのコンセプト、プロトタイプの紹介等について報告されました。



<電子タイル紹介：面谷委員長>

各調査研究グループからの活動報告に続いて、招待講演が行われました。

最初に一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム（DSC） 江口 靖二氏から、「デジタルサイネージの現状と課題」と題してデジタルサイネージのトレンドやデジタルサイネージから見た電子ペーパーについてご紹介をいただきました。

続いて、東京学芸大学 高橋 純氏から、「学校教育のためのデジタル教科書について」と題して、指導者用デジタル教科書、学習者用デジタル教科書の概要と活用場面についてご紹介をいただきました。

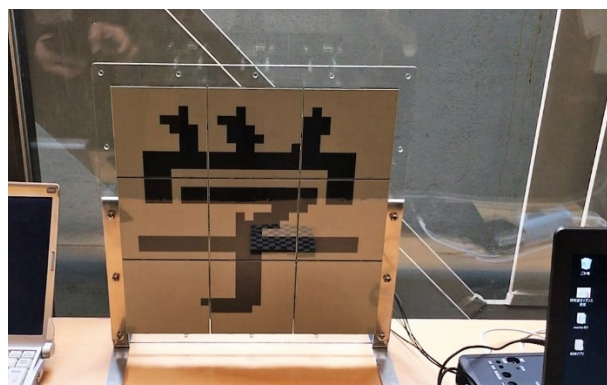
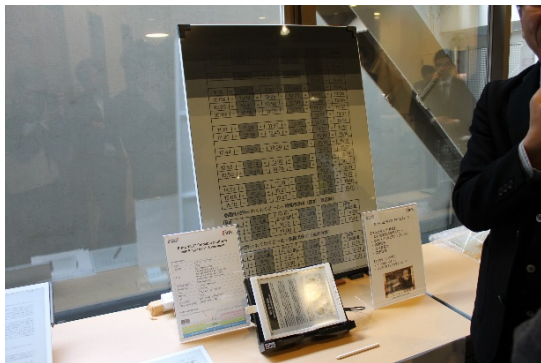


< DSC 江口 靖二氏 >



< 東京学芸大学 高橋 純氏 >

休憩時間には、E Ink の 42 インチのモノクロモジュール、折り曲げ可能な EPD（電子ペーパー）、旭硝子の「表示する内装部材 Transmart®」、東海大学の「電子タイル」、ソニーの「DPT-RP1」のそれぞれ実機によるデモ展示がロビーで行われ、来場者の皆様に好評を博しました。



< デモ展示の様子 >

招待講演の後半は、最初にテラダ・ミュージック・スコア（株） 越田 昌伸氏から「電子楽譜専用端末 GVIDO（グウィド）について」と題して、2画面楽譜専用端末グウィドの機能や仕様について紹介されました。

続いて旭硝子（株） 新山 聡氏から「表示する内装部材のご紹介」と題して、「ガラスとエレクトロニクスの融合による新しい空間表現 Transmart®」の紹介が行われました。



<テラダ・ミュージック・スコア（株）
越田 昌伸氏>



<旭硝子（株） 新山 聡氏>

続いて、E Ink Japan（株） 橋本 圭介氏から「電気泳動方式電子ペーパー技術の最新動向」と題して「Color EPD」、「Flexible EPD」、「Writing solution」のそれぞれの最新動向について報告がありました。

招待講演の最後は、Linfy/ソニーセミコンダクタソリューションズ（株）塩浦 邦浩氏から、「新デジタルペーパーの開発意図と今後の狙い」と題して、DPT-RP1の開発意図と今後の展開について報告されました。



<E Ink japan（株）橋本 圭介氏>



<Linfy/ソニーセミコンダクタソリューションズ（株）塩浦 邦浩氏>

続いて全講演者と来場者との質疑応答・自由討論が行われました。
来場者からも活発な質問が相次ぎ、会場は熱気につつまれました。

最後に、柴田副委員長の閉会挨拶をもって、シンポジウムは盛況のうちに終了いたしました。

*開会挨拶 (13:00-13:05) 面谷 信 (電子ペーパーコンソーシアム委員長／東海大学 光・画像工学科 教授)
【電子ペーパーコンソーシアム活動報告】
(1) RG1 活動報告：「最新電子ペーパーの評価」(13:05－13:25) (柴田 博仁：電子ペーパーコンソーシアムRG 1 主査／富士ゼロックス(株))
(2) RG4 活動報告：「電子ペーパーの国際標準進捗報告」(13:25－13:45) (高橋 達見：電子ペーパーコンソーシアムRG 4 委員)
(3) 「電子ペーパーから電子タイルへ」(13:45－14:05) (面谷 信：東海大学)
【招待講演】
(4) 「デジタルサイネージの現状と課題」(14:05－14:40) (江口 靖二：一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム)
(5) 「学校教育のためのデジタル教科書について」(14:40－15:15) (高橋 純：東京学芸大学)
デモ展示 (E Ink、東海大学 (電子タイル)、旭硝子)／休憩 (15:15－15:45)
(6) 「電子楽譜専用端末 GVIDO (グウィド) について」 (15:45－16:15) (越田 昌伸：テラダ・ミュージック・スコア株式会社)
(7) 「表示する内装部材のご紹介」(16:15－16:45) (新山 聡：旭硝子株式会社)
(8) 「電気泳動方式電子ペーパー技術の最新動向」(16:45－17:15) (橋本 圭介：E Ink Japan 株式会社)
(9) 「新デジタルペーパーの開発意図と今後の狙い」(17:15-17:45) (塩浦 邦浩：Linfyn/ソニーセミコンダクタソリューションズ (株))
(10) 全講演者への質疑応答 (17:45－17:55)
*閉会挨拶 (17:55－18:00) 柴田 博仁：(電子ペーパーコンソーシアム副委員長)

以 上